

小牧輝夫 編

国際化時代の
韓国経済

小牧輝夫 Ⅱ 編

国際化時代の
韓国経済

目次

序 韓国経済の国際化

1 国際化とはなにか 2

2 国際化の現状 3

3 国際化を促進する要因 5

4 国際化の課題と展望 6

I

貿易摩擦と国際的調整

II

1 韓国経済の国際的調整

2 韓国の貿易摩擦の時系列的分析 19

3 これからの展望 32

II

産業構造の調整と今後の課題

1 経常収支黒字実現の意味 36

2 産業構造変化の内実 42

3 経済基調の変化と政府の対応方向 45

4 課題 54

5 おわりに 63

Ⅲ 農業の新たな進路

- 1 急激な産業化と農林水産経済への影響 66
- 2 農政の展開と国際化時代の新方向 74
- 3 「構造農政」への転換 81
- 4 新農政の課題 83

Ⅳ 金融の国際化

- 1 はじめに——金融国際化の意義 88
- 2 金融自由化の推進 90
- 3 内国金融市場の開放 93
- 4 対外金融投資の増加 106
- 5 おわりに——金融国際化の展望 109

Ⅴ 企業の海外投資

- 1 はじめに 116
- 2 海外投資要因の変化 118
- 3 海外投資の概況 127
- 4 パターン別の事例 136
- 5 韓国経済およびアジア地域への影響 140

Ⅵ 北米における韓国製品

- 1 はじめに 146
- 2 苦戦する韓国製品 147
- 3 米国市場の変化とそれへの対応 161
- 4 今後の米韓経済関係 170
- 5 おわりに 171

Ⅶ 日韓国際分業の新展開

- 1 はじめに 174
- 2 拡大する対日貿易赤字 175
- 3 流通企業による開発輸入の拡大 182
- 4 韓国の工業生産の実力 190
- 5 メーカーによるOEM取引の拡大 193
- 6 結論と展望 202

Ⅷ 交流深まる韓中経済

- 1 北京の焼肉店 206
- 2 目につく韓国人 207
- 3 ハイジャック事件が交流のキツカケ 209

参考文献

- 4 スポーツ大会が交流を促進 212
- 5 香港が交流拠点 214
- 6 相互にメリットある貿易と投資 216
- 7 今後は国家関係の改善が課題 219
- 8 ソ連、東欧関係の急進展 221

●執筆者

- 小牧 輝夫（こまき てるお／国際交流室）
奥田 聡（おくだ さとる／動向分析部）
野副 伸一（のぞえ しんいち／動向分析部）
崔 洋夫（ちえ やんぶ／韓国農村経済研究院）
谷浦 孝雄（たにうら たかお／地域研究部）
水野 順子（みずの じゅんこ／経済協力調査室）
服部 民夫（はっとり たみお／総務部兼経済協力調査室）
花房 征夫（はなぶさ ゆきお／図書資料部）

国際化時代の韓国経済

国際化時代の韓国経済

調査研究レポート 13

一九九〇年三月三十日発行 ©

編者・小牧輝夫

編者紹介

小牧輝夫

アジア経済研究所国際交流室次長。

昭和三十九年大阪市立大学卒、アジア経済研究所入所。
四十三年、海外派遣員として二年間韓国に滞在（全国
経済人連合会）。

五十六年、海外調査員として二年間米国に滞在（ハー
バード大学東アジア研究センター）。

『朝鮮半島——開放化する東アジアと南北対話』（編）
『北朝鮮経済の実像——工業部門を中心に』、『韓国経
済——先進工業国への可能性と条件』など論文多数。

発行・アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町四二
電話 〇三—五五三—四三三

印刷・株式会社 三陽社

●国際化時代の韓国経済●